

課題名：「富岳」による地震の大規模シミュレーションの 基礎拡充と社会実装へ向けた展開

市村 強
(東京大学地震研究所・教授)

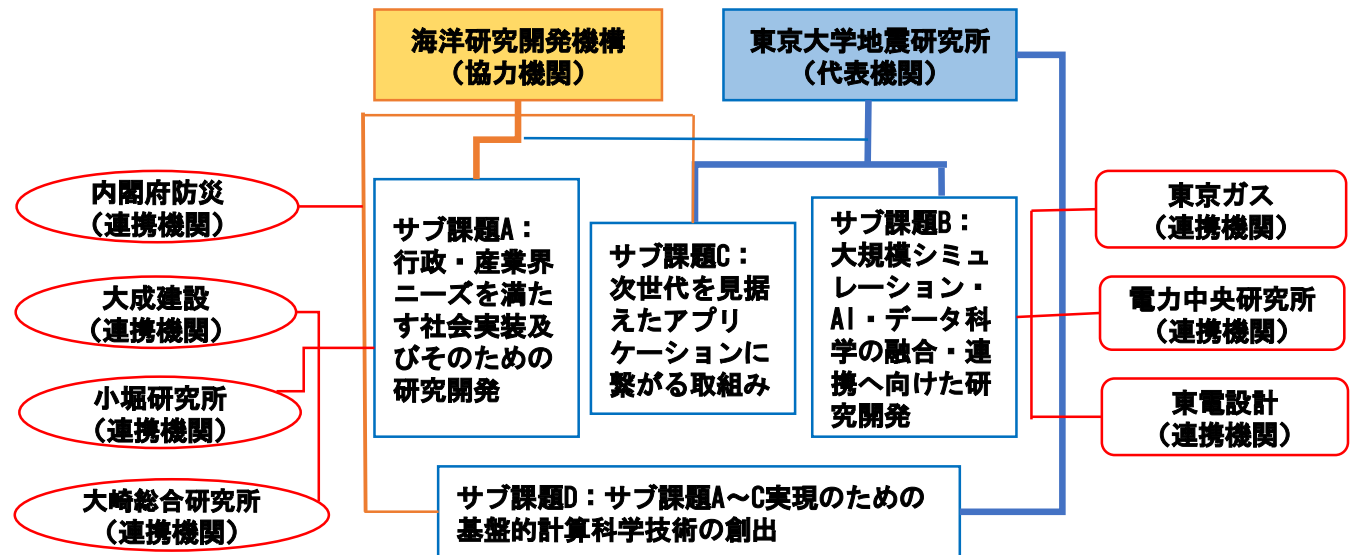


概要・目標

- ◆ 「富岳」を活用した地震の大規模シミュレーションに関する計算科学的研究開発を実施し、行政・産業界ニーズを満たす研究開発・社会実装を展開するとともに、基礎拡充として次世代を見据えたアプリケーションの研究開発を実施する。

実施体制・関係機関・研究内容

- ◆ 地震では様々な現象が生じる。そのうち本課題では、サブ課題Aでは断層から地表までの地震動解析を、サブ課題Bでは工学的基盤以浅の地盤振動解析を、サブ課題Cでは地殻変動解析を、上記の概要・目標を目指して実施する。また、サブ課題A～Cで生じる分野横断的な計算科学上の課題をサブ課題Dにおいて解決し、基盤的計算科学技術の創出を目指す。



課題全体の相関図と各サブ課題の位置づけ：サブ課題Aは海洋研究開発機構が、サブ課題B～Dは東大地震研が主分担となり、代表機関・協力機関・連携機関が緊密に連携して課題を推進する。

想定される具体的成果

- ◆ 地震災害の軽減と地震現象の理解に資する、「富岳」の性能を引き出す次世代大規模シミュレーション手法の創出
- ◆ 若手・中堅研究者を中心として「富岳」を活用した、行政・産業界ニーズを満たす研究開発・社会実装の展開